

## information catch

### HASEさんの「悟り」入門

【第4回】

世の中、自分の思い通りにならないことが多いものだ。ビジネス、プライベートでの人間関係、あるいは突発的なトラブル、「どうしてこんなことに？」と思うこともある。しかし、長谷川俊道住職は、「世の中はそういうものだ」とお釈迦様もおっしゃっていますから」と笑う。ものの見方を少し変えるだけで、今よりももっとラクに、そして前向きになれるのではないかとご住職は言う。お釈迦様の教えの深さを、今回もお聞かせいただく。

## 思い通りにならないことが、人を成長させる。

皆さん、こんにちは。瑞岩寺住職の長谷川俊道（通称HASE）と申します。

今回は、仏教の大原則とされる「四法印」の3つ目、「一切皆苦」のご紹介をさせていただきます。

「一切皆苦」をわかりやすいことばに置き換えると、「人生は自分の思いどおりにならない」となります。世の中、思うようにいかないことがしばしばあるものですね。ビジネスでも、プライベートでも、何かトラブルが起きると「どうして邪魔をするんだ」とイライラしたり、「なんでこうなっちゃうんだろう」と落ち込んだり、こうした気持ちを味わったことのある方はたくさんいらっしゃると思います。しかし、お釈迦様の言葉を借りれば、そ

のような状況も「一切皆苦」です。人の世とはそういうもの、うまくいかなくても当たり前なのではないかと思うのです。

「うまくいかないと言われたらやる気にならないよ」、「思い通りにならないことが失敗の慰めにはならない」と思われるかもしれませんが、ものの見方を少し変えてみてください。私たちは、最初からものごとが順調に進むことを期待しすぎてはいないでしょうか？ なんの障害もないことが前提だから、小さな問題が起きただけでもイライラするし、「どうしてできないのか」と落ち込むのです。しかし、最初から「うまくいかない」ことを前提とすると、一つひとつの障害もあって当たり前。イライラすることもなくなるし、うまくできたときの喜びは大きくなるはずです。つまり、お釈迦様が伝えたかったのは、「世の中思い通りにならないのだから諦めなさい」ということではなく、「どんなことも、なし遂げるには様々なプロセスを経る必要がある」ということだと、私は思っています。ものごとがうまくいかないと、夢や目標が実現しないことは決して一緒ではありません。目の前の障

害や課題を、一つひとつクリアにしていけば、いつかは夢や目標に到達することができるのですから。いえ、むしろ様々なプロセスを経験するほうが、夢や目標を本当の意味で実現し、さらに自分自身にも磨きをかけることができるのではないのでしょうか。

「人間は上にも成長するが、下にも成長する」。私の大好きな言葉の一つです。これは、勉強して学力が身についたり、訓練して技術が磨かれたりすることを上に向けた成長と捉えるなら、辛い、悲しいといった体験は、人を下に向けて成長させるということなのです。下に向けて成長するというのは、ゴムをひっぱるようなもので、下に向かうほど飛び出す力を蓄えているのだと思います。

私の職業柄、お葬式などで大切な方を亡くされたご遺族にこの言葉を贈ることが多いのですが、「下に向けて成長」する機会は、私たちの日常の中にももっとたくさんあると思います。

たとえば、ビジネス上で何かトラブルが発生した場合、もう無理だと諦めてしまったら、その先の道は完全に途絶えてしまいます。しかし、問題解決に懸命に努力すると「このような問題



群馬・瑞岩寺住職 長谷川 俊道  
福井県永平寺で修行後、ハワイ・パールハーバーのお寺に赴任。帰国後は瑞岩寺副住職となり、4月に住職に就任。開かれたお寺を目指し、財務公開や、お寺での講演会、ライブ開催など、お寺の常識を覆す挑戦を続けている。現在、「HASEの金曜は聴きこみ寺」というポッドキャスト番組により良く生きるヒントを発信している。

には、こう対処すればよい」というナレッジを社内に蓄積できるし、きちんと対処すれば取引先からの信頼もさらに厚くなるでしょう。もちろん社員間の結束力も高まります。

世の中はうまくいかないもの。でも、それは、あなたをもっと輝かせるためのプロセスです。そう考えると「もうちょっと頑張ろう」という気持ちになってきませんか？ 人生や仕事に対するあなたの姿勢が、あなたの人生を素晴らしいものにするかどうかにかかっています。



出典：フジサンケイビジネスアイ